

伊藤さくらとその仲間たち

I 部 11:00~12:00

原爆投下から80年

被爆ヴァイオリンで奏でる平和への祈り

その一本のヴァイオリンは、ロシア革命の時に日本に亡命したパルチコフさんとともに日本にやってきました。広島的女学校で音楽教師として働いていた彼の大切な楽器でした。

1945年8月6日、午前8時15分に投下された一発の原子爆弾で、一瞬にして広島は焼野原になりました。パルチコフさんは、その時自宅にいて被爆しましたが、崩壊した家の中からこのヴァイオリンだけは持ち出し、命からがら避難しました。

このヴァイオリンはその後紆余曲折を経て、現在、唯一の被爆ヴァイオリンとして大切に保管されています。

演奏予定曲

中田章	早春賦
ハイドン	ピアノ三重奏曲 ロ長調より
ドボルザーク	わが母の教えたまいし歌
ショパン(ミルシテイン編曲)	ノクターン第20番
スペイン民謡(カザルス編曲)	鳥の歌
バッハ	G線上のアリア 他

ヴァイオリン
伊藤さくら

チェロ
グスタフ・ヴォツヒャー

ピアノ
岸元大周

ピアノ
岩崎宇紀

II 部 14:00~15:25

チェロ、ヴァイオリン、ピアノによる名曲の調べ

演奏予定曲

ベートーヴェン	ヴァイオリンソナタ第5番『春』
シューマン	トロイメライ
メンデルスゾーン	ピアノ三重奏曲 第1番 ニ短調 2楽章
ブラームス	ハンガリー舞曲 第5番(グスタフ・ヴォツヒャー編曲)
バルトーク	ルーマニア舞曲(グスタフ・ヴォツヒャー編曲) 他

日時

令和7年

7月26日(土)

場所

神河町中央公民館 グリンデルホール

鑑賞料

無 料

【全席自由】

I 部

11時 開演(10時30分開場)

II 部

14時 開演(13時30分開場)

※ I 部、II 部入替なし

お問い合わせ

神河町中央公民館 TEL:0790-34-1450 FAX:0790-34-1285

〒679-3116 兵庫県神崎郡神河町寺前64番地 午前9時~午後5時

【休館日】月曜日(祝日の場合は翌日) 【主催】神河町、神河町教育委員会 【後援】神河町文化協会



神河町
公式ホームページ



伊藤 さくら (Sakura Ito) ヴァイオリン

兵庫県立龍野高校卒業。佐渡裕とスーパーキッズオーケストラの2010年度コンサートミストレスを務めた。桐朋学園大学を経てチェコ国立ヤナーチェク音楽アカデミーに入学、学士課程修了。その間、EUエラスムス制度により1年間ウィーン国立音楽大学でも学んだ。リンツブルックナー音楽大学オーケストラアカデミー修士課程を最優秀の成績で修了。これまでに篠崎功子氏、F.ノボトニー、R.キュッヒル、S.ノバ、P.ミハリツァ、P.シューマイヤー、石川静の各氏に師事。2018年、チェコフィルハーモニー管弦楽団のアカデミー生に選拔され、ブラハの春音楽祭や世界各国のツアーに参加。常任指揮者のS.ピジュコフ氏によるチャイコフスキー及びマーラーのプロジェクトのCD録音にも携わった。現在、チェコ国立ブルノフィルハーモニー管弦楽団の正団員。リヒテンシュタイン交響楽団常任団員。ウィーン国立音楽大学修士課程(室内楽)に在籍。たつの市音楽協会会員。



グスタフ・ヴォツヒャー (Gustav Woher) チェロ

オーストリア・フォアアールベルグ州出身。オーストリア西部のフェルトキルヒ音楽院で7歳よりチェロ、11歳よりピアノを始める。2014年ザルツブルク大学モーツァルトウム校に入学、チェロをG.ニョッキ教授のもとで、また別にピアノも学び、2018年に芸術学士号を取得。2023年には同大学で教育学の学士号も取得。その間、ルツェルン音楽祭現代音楽アカデミー、ウィーン交響楽団のサマーアカデミー等に参加。EU圏内のコンクールでチェロ演奏だけでなく作曲及び編曲でも数多く受賞している。現在、リヒテンシュタイン交響楽団首席奏者、フォアアールベルグ交響楽団の常任団員。ウィーン国立音楽大学修士課程(室内楽)に在籍。ドルンビルン音楽基礎学校講師を経て現在はザルツブルグ音楽学校ムジクムの講師を勤め指導者としても好評を得ている。また、語学が非常に堪能で、母国語であるドイツ語の他に、英語、フランス語、スペイン語、チェコ語、また日本語も独学で学んでいる。



岩崎 宇紀 (Uki Iwasaki) I 部 ピアノ

京都市立芸術大学音楽学部ピアノ専修卒業。京都音楽協会賞受賞。第1回日本現代音楽ピアノコンクール優勝、併せてアルバン・ベルグ賞受賞。「現代の波」音楽祭、京都・若い作曲家による連続作品展、サントリー音楽財団コンサート等に招かれ、初演を含む日本人作曲家作品を多数手がける。「東京の夏」音楽祭では高橋アキ氏と共演の機会を得て「ロシア・アヴァンギャルド」の音楽を演奏、テレビ朝日「題名のない音楽会」でも取り上げられた。90年代から、マウリツィオ・カーゲル「音の演劇」、藤家溪子のモノオペラ「蠅の女」など、既成の概念にとらわれない実験的な試みにピアニストとして参加する。近年では「龍野アートプロジェクト」においてヒガシマル醤油蔵、瀬戸内市立美術館、日本技術美術博物館(クラクフ)で、現代美術とのコラボレーションを行う。日本人作品によるコンサートや室内楽にも精力的な活動を展開し、多くの作曲家や演奏家との協働の機会を得ている。たつの市音楽協会会員。



岸元 大周 (Hirochika Kishimoto) II 部 ピアノ

兵庫県赤穂市生まれ。京都市立芸術大学、京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程を卒業。大学院では、F.Chopin の作品を中心に研究、研鑽を積む。大学より推薦され、学内リサイタル、卒業演奏会に出演。元ウィーンフィル管弦楽団のアダルベルト・スコッチ氏と共演。姫路市交響楽団とモーツァルト ピアノ協奏曲第20番ニ短調KV.466を共演。平成25年赤穂市文化奨励賞受賞。平成29年度青山音楽財団奨学生。これまでに、二木貴帆、古田紗和、堤芙喜子、阿部裕之の各氏に師事。現在、関西を拠点に、ソロリサイタル、室内楽、伴奏と幅広く活動している。赤穂市音楽協会会長。京都市立芸術大学伴奏員。

お客様へのお願い

- ・未就学児の入場は、ご遠慮ください。
- ・災害等により、やむを得ず中止とする場合は、町ホームページ
町内告知放送にてお知らせします。

